

# いし わら しょう がっ こう こう く ず 石原小学校 校区図



石原小の校章には稲が入っています。地面の下に石の多い石原の水田で育った稲は美味しいお米になり忍藩の献上米でした。水質も良好で坪井の井戸水は忍藩で用水でもありました。水は酒造りや熊谷染にも使われていました。

1780年に忍藩主が領地の境界を示し、他藩との境界争いを防ぐため十六か所にたてた石標のひとつ。今でも学区の境に立つ。

このあたり古墳が多く「四十八塚」と呼ばれた。

熊谷の胎内くぐりは高城神社と赤城久伊豆神社で行われます。6/30に茅の輪が掛けられます。

忍城主・成田氏が開削した用水堀の源に当たる荒川の水門に久伊豆神社を勧請した。

石原小学校の校歌の作詞は熊谷出身の文芸評論家・哲学者・政治家である石坂養平(1885-1969)。石坂は郷土の発展、地域青年の文化育成に尽力しました。石原小のほか近隣の学校(奈良小、中、大幡小、大原中、別府中、熊谷東中、妻沼西中、東中、熊谷高校)の校歌も作詞しています。



石坂養平

♪ 広野潤す荒川の～

昔の石原は「水郷の地」。古くは荒川の広い河原の一部でした。

## 熊谷市立石原小学校

- ・明治6年石原東学校、石原西学校ができて以来150周年を迎える。
- ・生徒数 724人
- ・3号棟は熊谷初の鉄筋校舎



## 大原墓地

竹井澹如、伊奈忠次、林有章など名家のお墓がある。

## 報恩寺

平安時代から鎌倉時代にかけて活躍した有名な武将、熊谷次郎直実の娘、玉津留姫の建てたお寺。元は熊谷郵便局の場所にあった。

## 円光塚

円光塚は熊谷次郎直実の愛馬「権田栗毛」のお墓。石碑は熊谷寺を再興した幡随意という浄土宗の優れた和尚さんが書いたと言われています。



## かめの道

東武熊谷線廃線跡を利用した公園。ゆっくり走る列車だったため愛称「かめ号」。

## 埼玉県蚕業試験場

### ひろば

ひろばには蚕業試験場がありました。今でも南入口に黒御影石の銘板があります。平成10年に閉業するまで大正2年からの85年間蚕業の発展に貢献しました。また隣接して熊谷地方気象台がありますが、当時の基幹産業である蚕業の中心地が熊谷であったためと推測されています。

## 旧中山道

八木橋百貨店の中を通り、一番街、八坂神社を通り現在の国道17号にあたるまでが旧中山道です。八木橋西側の石碑は石原に住まわれていた書家・柴田侗堂の書です。



旧中山道跡

熊谷銘菓「五家宝」の起源の一つとして1818～1829(文政年間)に水戸藩から忍藩に移り、成田用水の水役人を勤めていた水野源助が武士を辞め、中山道沿いに駄菓子屋(茶店)を開いた際、故郷の銘菓「吉原殿中」を参考にして干菓子「五嘉棒」を作って売り出したと伝わる。水戸屋の五家宝ラベルには「石原大橋」のイラストが入っている。これは中山道が成田用水を渡る場所にあった橋で別名「養安橋」。忍藩の医師志村養庵先生が私財を投じて建立した。



水戸屋のラベル

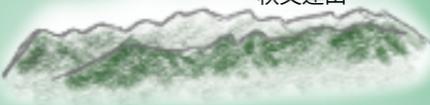
足利と入間をつなぐ国道407号。熊谷警察署と本石2丁目の交差点まで国道17号と重なっています。



国道407号

西へ10kmほど  
ろくせきとうしゅうこう  
六堰頭首工へ

南西に60kmほど  
秩父連山  
♪ 遥かに望む秩父嶺の～



♪ 遥かに望む秩父嶺の～